

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139000
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会補助金		補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金
				<input type="radio"/>	(6)その他
②支出の根拠	関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による				
③支出先	関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会				
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会会員及び市民			に対して
	手段	生涯学習の相談活動及び各種講座の開催			を行うことで
	受益者	関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会会員及び市民			が(を)
	意図	生涯学習活動の活性化と積極的な地域づくりを行う			という状態にする
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日 ~ R 5 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 13 年度		
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ()		
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1人 あたり	2,000 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4予算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	250	250	250	250	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	<input type="radio"/> 定額補助・負担					<input type="checkbox"/> その他 ()
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	577 千円	R4歳出決算額	432 千円	翌年度繰越額	145 千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	43.3 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	見直す必要がある
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	少しずつだが達成できつつある
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	生涯学習の停滞

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1現状のまま継続	<input type="radio"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	今後の生涯学習の振興を図るためには重要な役割をもつ組織であるので、より育成を図らねばならない。生涯学習課との事業の進め方で、役割分担等を見直しながらより効率的な運営を図る必要がある。また、人材の育成をどのように進めていくのかも課題である。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139550
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	岐阜人権擁護委員協議会武儀部会				補助金の分類	<input type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠 関市社会福祉団体活動支援補助金交付要綱					<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
						<input type="radio"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先 岐阜人権擁護委員協議会武儀部会					<input type="radio"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						<input type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金	
	④国・県の負担					<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> (6)その他
<input type="checkbox"/> 国の負担あり					負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的				<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	負担額	千円
				対象	岐阜人権擁護委員協議会武儀部会		
手段		研修、相談業務の補助			を行うことで		
受益者		会員(人権擁護委員)			が(を)		
意図		人権活動、人権相談等の活発な活動の展開と委員の資質向上			という状態にする		
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日				補助・負担開始年度	昭和50年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他()				
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1人あたり 2,400円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	110	110	110	110	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他()		
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	592千円		R4歳出決算額	334千円		翌年度繰越額	258千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合			18.6%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成している
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大いにあり

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)	人権相談を市民にPRし、利用者を増やす。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139750
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市地域女性の会連合会補助金				補助金の分類	<input type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)
						<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						<input type="radio"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)
						<input type="radio"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						<input type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金
						<input type="radio"/> (6)その他
②支出の根拠	関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による					
③支出先	関市地域女性の会連合会					
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	地域女性の会会員			に対して	
	手段	研修・学習会、地域の福祉・文化事業、及び市主催事業への協力			を行うことで	
	受益者	地域女性の会会員及び市民			が(を)	
	意図	生涯学習活動の活性化と積極的な地域づくりを行う			という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日	～	R 5 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 15 年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1 人	あたり	200 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	600	600	600	600	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ()
②過去における見直し状況	平成19年度から、それまで84万円の補助を60万円に減額している。					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	1,375 千円	R4歳出決算額	1,111 千円	翌年度繰越額	264 千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	43.6 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	ある(県地域女性の会 56千円)
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	女性団体としての活動の停滞

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	女性の立場から積極的に市の事業の進行に寄与するとともに、地域での活性化を図っている。地域の結びつきや助け合いが弱まってきている現在において、地域連携や情報共有といった面での役割が期待されている。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139750
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市女性連絡協議会補助金				補助金の分類	<input type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による					<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						<input type="radio"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 関市女性連絡協議会					<input type="radio"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						<input type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金
	④国・県の負担					<input type="radio"/> なし
<input type="radio"/> 県の負担あり 負担割合 負担額 千円						
⑤支出の目的	対象	女性連絡協議会会員			に対して	
	手段	研修活動や加盟団体相互の交流			を行うことで	
	受益者	女性連絡協議会会員			が(を)	
	意図	自らの資質向上と女性団体の活動の活性化を図る			という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日 ~ R 5 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 10 年度		
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="radio"/> その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	加盟1団体あたり	2,500 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	95	95	95	95	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	<input type="radio"/> 定額補助・負担					<input type="radio"/> その他 ()
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	262 千円	R4歳出決算額	260 千円	翌年度繰越額	2 千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	36.3 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	女性団体活動の停滞

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="radio"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4 統合を検討	<input type="radio"/> 5 終期を設定	<input type="radio"/> 6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)	女性団体として自主的に活動し、成果を上げている。加盟団体が減少、会員が高齢化・固定化してきて、活動が難しくなっている。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139750
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	せきボランティアガイドの会補助金				補助金の分類	<input type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)
						<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						<input type="radio"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)
						<input type="radio"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						<input type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金
						<input type="radio"/> (6)その他
②支出の根拠	関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による					
③支出先	せきボランティアガイドの会					
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	会員及び市内児童、関市への来訪者			に対して	
	手段	市内名所・旧跡、歴史・文化、伝統産業等についての研修、ガイド活動			を行うことで	
	受益者	会員及び市内児童、関市への来訪者			が(を)	
	意図	関市の文化・歴史等の理解を深めるとともに、その伝承に寄与する			という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日	～	R 5 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 19 年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1 人	あたり	3,000 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	48	48	48	48	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	<input type="radio"/> 定額補助・負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	72 千円	R4歳出決算額	70 千円	翌年度繰越額	2 千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	66.7 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	関市ガイド活動の減少、歴史学習の機会減少

関市内の小学校等へのガイド活動は、地域学習へとつながっている。

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="radio"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	関市の文化・歴史等を紹介する貴重な組織であり、市外からの来訪者へのガイド活動や市内児童への地域・歴史学習に協力している。活動が継続できるよう支援していきたいが、令和5年度は補助金申請されない予定。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139750
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市社会教育視聴覚協議会補助金				補助金の分類	<input type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による	<input type="radio"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先					関市社会教育視聴覚協議会	<input type="radio"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
							<input type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金
							<input type="radio"/> (6)その他
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	会員及び市民				に対して	
	手段	視聴覚教育振興のための事業の実施				を行うことで	
	受益者	会員及び市民				が(を)	
	意図	視聴覚資料・教材の制作及び普及・活用、視聴覚教育の発展に寄与する				という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日 ~ R 5 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 10 年度			
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ()				
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1 人 あたり	2,000 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	143	143	143	143	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	<input type="radio"/> 定額補助・負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	618 千円	R4歳出決算額	607 千円	翌年度繰越額	11 千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		23.1 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	視聴覚教育振興への影響は大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	会員の高齢化が課題であり、若い会員を増やす必要がある。また、視聴覚機材が古くなってきており、最新の機器へと更新していくことが求められている。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139770
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市新型コロナウイルス感染症対策経営安定支援補助金			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市新型コロナウイルス感染症対策経営安定支援補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先	指定管理者(TSG共同企業体)			(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
					(5)個人に対する補助金・負担金	
	(6)その他					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による物価の高騰で経営の安定に支障が生じた指定管理者			に対して	
	手段	光熱水費の高騰分に相当する金額の補助金の交付			を行うことで	
	受益者	指定管理者及び市民			が(を)	
	意図	安定した施設運営を行い、コロナ禍以前同様に施設を利用できる			という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日			補助・負担開始年度	令和4年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課	○主に支出先団体	その他()			
⑧構成員の負担	○負担なし	負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	○補助・負担率を定めている→補助率	12/11(対象者の収入で請う光熱水費の額を控除)
	0	0	2,758	0	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	物価高騰が継続する場合は影響が大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	○ 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	物価高騰の状況及び指定管理者の経営状況を注視し、継続的な補助の必要性について判断する必要がある。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139780
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市少年補導員連絡協議会補助金		補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
	②支出の根拠			関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による		<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
						<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
	③支出先			関市少年補導員連絡協議会補助金		<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金	
						<input type="radio"/>	(6)その他	
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	市内の少年					に対して	
	手段	補導や相談活動、補導員研修会の実施					を行うことで	
	受益者	市内の少年					が(を)	
	意図	非行・不良化を防止し、社会環境を浄化する					という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日	～	R 5 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 14 年度			
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="checkbox"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()		
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率		
	450	550	450	600	単価を定めている→算式		
					<input type="radio"/>	定額補助・負担	<input type="checkbox"/>
②過去における見直し状況	R3決算時に剰余金100千円を返還し、R4の補助金を減額した。						
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	616千円	R4歳出決算額	440千円	翌年度繰越額	176千円	
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		73.1%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/>	1現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/>	3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4統合を検討	<input type="checkbox"/>	5終期を設定	<input type="checkbox"/>	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	少年補導活動については、各支部との情報交換を密にした活動を推進し、青少年の健全育成に努めていく。					

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139785
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	青少年健全育成協議会補助金				補助金の分類	<input type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠 関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による					<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
						<input type="radio"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先 関市青少年健全育成協議会					<input type="radio"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						<input type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金	
	④国・県の負担					<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> (6)その他
<input type="checkbox"/> 国の負担あり					負担割合	負担額	千円
				<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市青少年健全育成協議会			に対して		
	手段	各地区の協議会が相互に連絡協調し、青少年健全育成の諸活動			を行うことで		
	受益者	市内のすべての青少年			が(を)		
	意図	健全に育成され、有為な青少年として成長する			という状態にする		
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日		補助・負担開始年度	昭和60年度			
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()		
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率		
	680	600	700	700	単価を定めている→算式		
②過去における見直し状況						<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ()
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	715千円		R4歳出決算額	713千円	翌年度繰越額	2千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		97.9%		決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成に向けて継続中
	交付先の事業成果は向上しているか	している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	あり

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	子どもの健全育成を図るためには重要な役割をもつ組織である。ただ、少子化が進行する中で各地区単位での組織の充実、活動の活性化が課題である。また、ほかの育成団体との協力・連携関係を構築していく必要がある。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139785
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市子ども会育成協議会補助金				補助金の分類	<input type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による					<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						<input type="radio"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 関市子ども会育成協議会補助金					<input type="radio"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						<input type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金
	④国・県の負担					<input type="radio"/> なし
<input type="radio"/> 県の負担あり 負担割合 負担額 千円						
⑤支出の目的	対象	子ども会会員(小中学生)、ジュニアリーダー及び地区単位子ども会			に対して	
	手段	子ども会組織の育成			を行うことで	
	受益者	子ども会会員(小中学生)、ジュニアリーダー及び地区単位子ども会			が(を)	
	意図	健全に育成される			という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日				補助・負担開始年度	昭和40年度
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="radio"/> その他()			
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1人あたり 120円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	712	912	1,100	1,100	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	<input type="radio"/> 定額補助・負担 <input type="radio"/> その他()					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	2,623千円		R4歳出決算額	1,778千円	
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	41.9%		翌年度繰越額 845千円 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	概ね達成している
	交付先の事業成果は向上しているか	向上しつつある
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	子ども会活動の停滞

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="radio"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4統合を検討	<input type="radio"/> 5終期を設定	<input type="radio"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	子どもの健全育成を図るためには重要な役割をもつ組織である。ただ、少子化が進行する中で組織・活動の活性化が課題である。また、長期化するコロナ禍の中で活動が停滞する地区も見られ、感染対策を講じつつ活動を徐々に再開できるように各地区子ども会への支援を強化していく必要がある。		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139785
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関スカウト育成会補助金				補助金の分類	<input type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による					<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						<input type="radio"/> (3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 関スカウト育成会					<input type="radio"/> (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						<input type="radio"/> (5)個人に対する補助金・負担金
	④国・県の負担					<input type="radio"/> なし
<input type="radio"/> 県の負担あり 負担割合 負担額 千円						
⑤支出の目的	対象	市内ボーイスカウト団体			に対して	
	手段	団の行事や奉仕活動、指導者育成、組織拡張・普及活動への援助			を行うことで	
	受益者	スカウト活動の参加者(小学生～大学生)			が(を)	
	意図	健全な社会人として成長する機会を提供する			という状態にする	
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日 ~ R 5 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 7 年度		
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="radio"/> その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	70	70	70	70	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	<input type="radio"/> 定額補助・負担					<input type="radio"/> その他 ()
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	655 千円		R4歳出決算額	370 千円	
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	10.7 %		翌年度繰越額 285 千円 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	ある程度向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	スカウト団体への影響は大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="radio"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	第1団、第2団とも、団員の減少が顕著であり、今後2団が1つになり、第1団として活動を存続していく。		